



碧南の輝きっこ

碧南市の輝きっこは、きらきらした目をして自分からいろいろなことを学び、それを吸収する意欲的な子どもであってほしいと考えます。

一人ひとりの子どもが体験し、感じることは大きくなる上で最も大切なことですし、子どもたち同士で学びあうこともとても大切なことです。またそれだけでなく、親や地域の人たちからいろいろなことを聞いて、学ぶことのできる環境は、はじめての社会である「地域」に存在し、成長する上で不可欠な部分です。ですから、親や大人たちも子どもたちにきちんと説明し、伝えられる地域にしていきたいと思っていますし、子どもたちが地域で輝いてくれば、地域にも爽やかな風が吹くと確信しています。

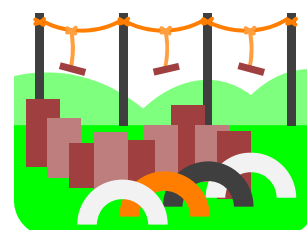
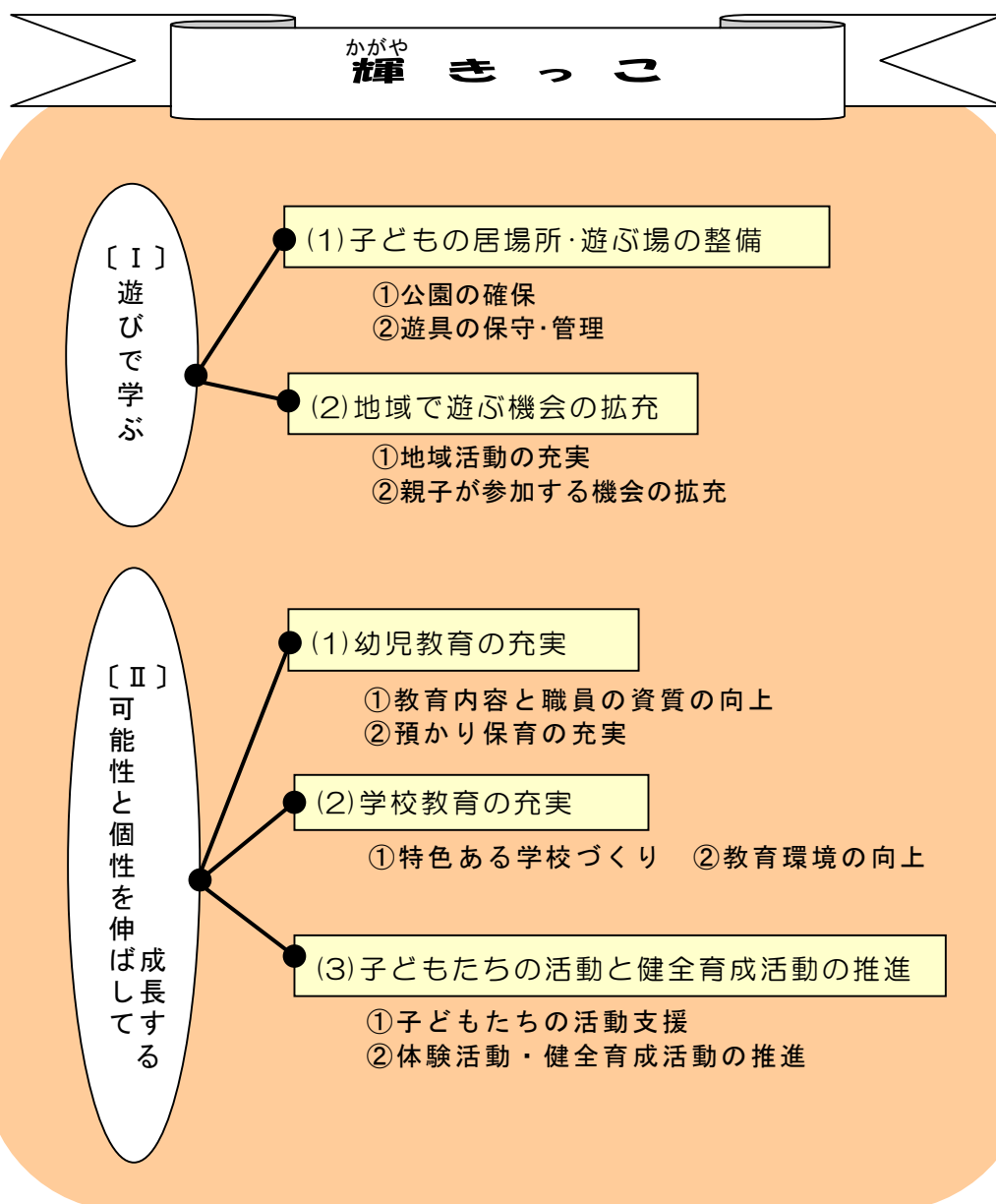
現状と課題

子どもが成長するための教材は、学校だけでなく家庭にも地域にもあり、すべてが教材となります。それに触れ、感じ、体験することが学習であり、子どもの成長を促します。

地域の子どもの教材・体験の場は、街区公園、児童遊園、ちびっこ広場などの公園、各地区の児童センターも含まれます。意識調査でも、身近な場所で遊びたい、遊具の管理をしてほしいなどの意見がみられ、幼稚園や保育園に通う前の子どもたちの遊び場、安全な遊具、子どもの居場所などを課題ととらえています。このため、公園の設置と遊具の点検などを継続するとともに、多様な子どもの居場所、子どもたちの自主的な活動、親子で体験する機会を地域のなかに増やしていく必要があります。

また、子どもの成長段階と子どもの個性・可能性をふまえた教育をめざし、学校では地域の実態にあった取り組みを進めています。その一方で、子どもをもつ親たちにとっては、子どもの取り巻く様々な環境、学校での子どもの様子を不安に感じていることが意識調査でも把握できます。子ども一人ひとりの成長を見守れるように、家庭と学校だけでなく、家庭内、学校間、家庭・学校・地域が相互に連携しあい、関わりあうことを大切にして、地域の力を親子の育ち支援に活かしていくことが重要です。





〔I〕遊びで学ぶ

子どもたちのもつ元気と好奇心は、遊びや体験により人としての成長を助長するものです。そのための場となる子どもの居場所・遊び場の整備を推進するとともに、遊びと体験に親及び地域の関わりが一層広がるように支援します。

(1) 子どもの居場所・遊ぶ場の整備

① 公園の確保

「碧南市緑の基本計画」に基づき、市民の憩いの場、運動の場として、公園・緑地の適切な配置のための整備を推進します。あわせて、これまでも地域のボランティア等による美化活動が行われており、このような活動と意識が広がるように、利用者側にも働きかけ、地域の公園を地域がきれいにして気持ちよく利用できる仕組みづくりをめざし、利用する側のモラルの向上と望ましい利用を啓発します。

② 遊具の保守・管理

市内の都市公園・児童遊園・ちびっこ広場などの遊具・施設は、定期的な点検を継続して行うとともに、地域のニーズにあった保守・管理に努めます。

(2) 地域で遊ぶ機会の拡充

① 地域活動の充実

学校完全週5日制が始まって以降、関連団体や地域のボランティアが関わりあって、子どもたちの体験型講座（子ども向け講座）を開催しており、学校教育以外で体験学習できる場として、多くの人や地域に関わってもらいながら継続して開催します。

② 親子が参加する機会の拡充

親子と一緒に体験できる機会として、親子ふれあいキャンプ、雪遊び、工作などを関係機関の協力を得ながら実施していますが、親が子どもに積極的に教えられるように働きかけ、多くの親子の参加を促進します。

市内の児童遊園：市内 10 ヲ所
油ヶ渚・玉津浦・荒子・前浜・
鷺塚・道場山・霞浦・弥生町・
西山町・浜尾町
(平成 16 年 4 月 1 日現在)



〔Ⅱ〕可能性と個性を伸ばして成長する

子どもの可能性と個性を伸ばす学びの場として、学校教育環境の充実を図るとともに、子どもたちの活動・地域の人たちの協力による児童育成活動などで子どもの学び・育ちを支援します。

（１）幼児教育の充実

① 教育内容と職員の資質の向上

幼児の望ましい発達を促すために、教育内容の見直し・充実を図るとともに、地域の環境を活かした幼児教育を推進します。

そのため、幼稚園教諭と保育士と共同の研修、教諭の意欲的な意識を高める研修が確保できるように努めます。

② 預かり保育の充実

民間１園で預かり保育を実施しており、公立園でも試行的に平成 15 年度より開始しています。今後は、保護者の理解、受入れ側の充実を図ります。

（２）学校教育の充実

① 特色ある学校づくり

各校で取り組んでいる地域性を活かした活動と児童生徒の興味・関心に基づく学習活動がさらに広がるように、地域の理解を深めるとともに、学校から家庭・地域に発信し、地域に開かれた学校をめざします。

② 教育環境の向上

高度情報化社会に対応した IT 教育の推進のため、児童生徒用コンピュータの導入を進め、児童生徒の学年に応じた内容で計画的に進めています。また、少人数指導授業も取り入れており、スペースの確保と教員の配置を検討します。今後は、教育内容と環境づくりが子どもの成長にどのようにつながり、どのような効果があるかなど評価方法を検討して推進します。



(3) 子どもたちの活動と健全育成活動の推進

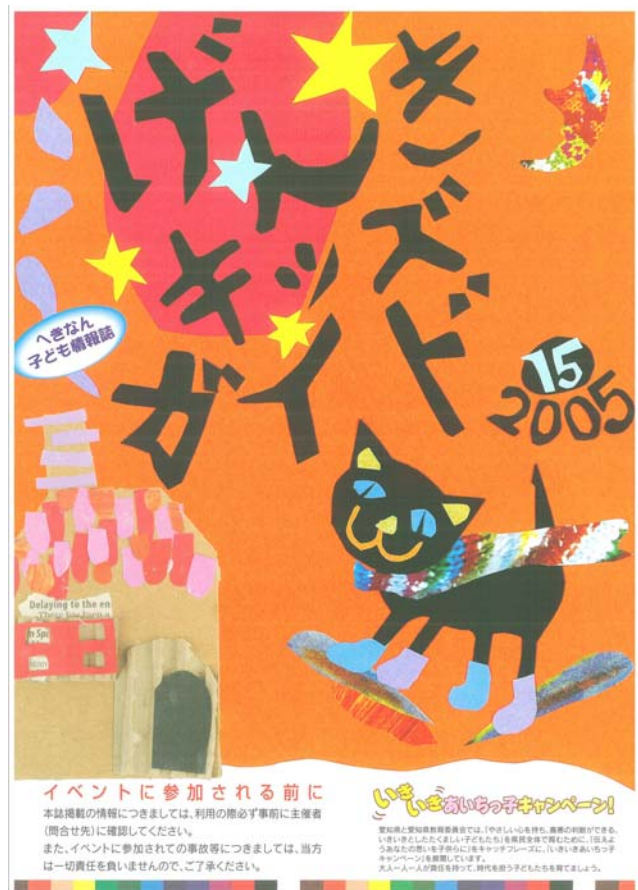
① 子どもたちの活動支援

中高生がジュニアリーダー養成で得てきたことを野外研修会等の行事で地域の子どもたちと活動しています。また、子ども会活動は地区にあった事業の実施に努めています。子どもたちの意欲的な活動が次のステップにつながり、地域との関わりを広げられるように推進します。

また、子ども情報誌は地域での子どもたちの活動を側面的に支援するため、年4回の発行し、ホームページを開設しています。今後は子育て情報など掲載情報の範囲を拡充するとともに、各課からの情報を集約してホームページの有効活用を促進します。

② 体験活動・健全育成活動の推進

様々な体験は子どもが学び、育つために特に重要なものです。碧南市の伝統産業・工芸を体験できる機会やボランティアや地域の人に関わる活動機会を拡充します。また、地域の青少年健全育成活動については、学校・地域・関係機関が連携を一層深め、安心できる地域づくりにも活動を広げていきます。

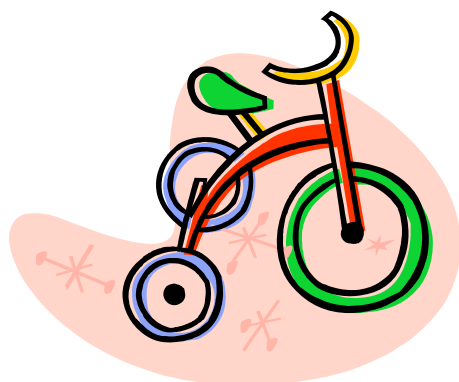


「輝きっこ」の主な施策・事業

〔I〕遊びで学ぶ

区分	施策・事業	計画期間(平成17年度～21年度)	
		取り組み方等	実施予定
(1) 子どもの居場所・遊ぶ場の整備			
①公園の確保	公園の新設	「碧南市緑の基本計画」に基づき、都市公園(40カ所)をはじめ公園の適切配置を促進。	A
	公園の美化	委託及び愛護会の清掃活動、利用者のマナーの向上。	A
②遊具の保守・管理		公園・児童遊園・ちびっこ広場の全遊具の定期保守・点検を継続。市民ニーズに応じた遊具の保守・管理促進。	A
(2) 地域で遊ぶ機会の拡充			
①地域活動の充実	子ども向け講座	学校教育以外の体験学習の場としての重要性をふまえて、地域の協力を得て継続実施。	A
②親子が参加する機会の拡充	親子ふれあい事業	親子一緒に自然体験や工作体験できる工夫、親が子どもに教えられるような手法で実施。	A

※計画期間中の実施予定は、
 A=継続して実施するもの
 B=計画期間中に実施を予定するもの
 C=計画期間中に実施検討・調査するものを示している。



〔Ⅱ〕可能性と個性を伸ばして成長する

区分	施策・事業	計画期間(平成17年度～21年度)	
		取り組み方等	実施予定
(1) 幼児教育の充実			
①教育内容と職員の資質の向上	幼児教育の充実	幼児の発達を促す教育課程の編成・実施・評価と、各園の実態、地域の環境を活かした幼児教育を推進。	A
	各種研修の充実	幼稚園教諭・保育士が自ら学ぶ意識を高め、研修機会の確保、研修体制の充実。	A
②預かり保育の充実		公立園で試行的に行っている預かり保育について、保護者の理解を深める。	A
(2) 学校教育の充実			
①特色ある学校づくり	魅力と特色のある学校づくり	地域との連携、地域性を活かした活動、児童生徒の積極的な取り組みを地域に発信し、地域ぐるみ活動を推進。	A
	総合的な学習の時間の実施	学年の実態に即したテーマを設定し、児童生徒が主体的・体験的に課題解決ができるように指導する。	A
②教育環境の向上	IT教育	校内 LAN や機器の整備を進め、その活用法を研究し、情報処理能力や情報活用倫理を身につけた児童生徒の育成を図る。	A
	少人数指導授業	子どもの実態に応じた展開を拡充するため、工夫した指導、学習環境の整備、教員の配置を推進。	A
(3) 子どもたちの活動と健全育成活動の推進			
①子どもたちの活動支援	子ども情報誌事業	掲載情報の範囲を広げ、各課からの情報をまとめ、ホームページの活用を促進。	A
	ジュニアリーダー養成事業	養成後、次のステップにつながる事業、活動の場を工夫、実践。	A
	子ども会活動事業	地区にあった活動に努めている。複数の課で連携して展開。	A
②体験活動・健全育成活動の推進	地場産業体験事業	(仮称)碧南市ものづくりセンターで、地場産業や伝統産業・伝統工芸にふれる機会をつくれるよう検討。	B
	市民図書館で実施するおはなし会	乳児と保護者、幼児、小学生向けのお話会で、小学生の参加が定着しない要因を探り、方法・内容を検討。	A
	ボランティア団体、地域の人の参加促進	おはなしボランティア講座終了後の自主グループの育成をめざし、担当窓口を確定し、情報収集・提供を図る。	B
	青少年体験活動推進事業	各学校や地域、関係機関と連携し、青少年の育成活動の継続実施と、安心できる地域づくり活動の拡充。	A



♡ 輝きっこ以外の分野に関連する施策・事業 ♡

輝きっこの各施策・事業は相互に関連・調整を図っています。以下の表には輝きっこ以外の分野に関連する施策・事業を示し、相互に連携を図りながら推進します。

区分	施策・事業	分野を超えて関連する施策・事業
〔Ⅰ〕 遊びで学ぶ	(1)子どもの居場所・遊ぶ場の整備	健やかっこ 〔Ⅱ〕(2)大人が子どものことを知る やすらぎっこ 〔Ⅱ〕(1)地域で親子が過ごす場の確保 〔Ⅲ〕(1)碧南の子育て・親育ち支援体系の構築 (2)碧南を思う次世代の育成
	(2)地域で遊ぶ機会の充実	健やかっこ 〔Ⅰ〕(4)子どもの成長にあった保健活動 〔Ⅱ〕(2)大人が子どものことを知る 育ちっこ 〔Ⅰ〕(2)幼稚園・保育園の新たな取り組み (3)児童クラブ運営の充実 〔Ⅱ〕(1)男女による子育ての推進 (2)働きやすい職場環境づくり
〔Ⅱ〕 可能性と個性を伸ばして成長する	(1)幼児教育の充実	育ちっこ 〔Ⅰ〕(1)保育サービスの充実
	(2)学校教育の充実	健やかっこ 〔Ⅰ〕(3)心身の発達に遅れのある子どもへの支援 (4)子どもの成長にあった保健活動 育ちっこ 〔Ⅰ〕(3)児童クラブ運営の充実
	(3)子どもたちの活動と健全育成活動の推進	健やかっこ 〔Ⅱ〕(2)大人が子どものことを知る 育ちっこ 〔Ⅰ〕(1)保育サービスの充実 (2)幼稚園・保育園の新たな取り組み (3)児童クラブ運営の充実

